

原稿種別

リハビリテーション・エンジニアリング誌への投稿書式について

Paper Submission Format for Rehabilitation Engineering Journal (Times New Roman 12pt)

電気 繁吉¹⁾、車椅子 好子²⁾

- 1) ○○病院リハビリテーション部
2) △△大学工学部

【要旨】ここに要旨を記載します(和文で概ね 300 字以内)。この書式で用いる原稿の種類と内容は、研究論文、研究報告、および技術・開発・活用報告です。以下の規定をお目通しの上、ご執筆をお願いします。見出し語(日本語のキーワード 3 語~5 語)は、要旨の末尾より 1 行空けて記載します。Abstract(英文で概ね 200 words 以内)は原稿の最終ページです。Key Words(3 to 5 words in English)は、Abstract の末尾より 1 行空けて記載します。リハビリテーション工学は学際的領域であり、学術的成果・技術・開発を多様な読者が理解し活用してもらえるよう、表現にはご配慮をお願いします。

キーワード: はじめに、本文、図表、動画、参考文献

1 はじめに

このたびはリハビリテーション・エンジニアリング誌に投稿頂き、ありがとうございます。以下の規定をお目通しの上、ご執筆のほどお願い申し上げます。

2 本文

2.1 書式

日本リハビリテーション工学協会指定の書式テンプレートに則った版下原稿とする(A4 2段組 1 行 23 字(全角)、1段 42 行(1 頁は文字だけの場合、400 字原稿用紙で約 5 枚分に相当)、余白は上 25mm、下 24mm、左 20mm、右 18mm。)。当該書式テンプレートは当協会のホームページよりダウンロードして使用すること。

2.2 表紙(1 ページ)

原稿の種類、表題名(和文・英文)、見出し語(日本語のキーワードおよび Key Words in

English)、筆頭著者・共著者すべての氏名、所属、会員番号、筆頭著者の連絡先(住所、電話番号、E-mail アドレス(掲載記事への記載は任意))を明記した表紙をつける。

2.3 本文(2 ページ以降)

(1) タイトルは 14 ポイント、本文(要旨・見出し語(日本語のキーワード)・Abstract・Key Words in English)は 10.5 ポイントとする。本文は BIZ UDP 明朝体、見出しおよび図表・動画タイトルは BIZ UDP ゴシックを推奨する。英文は Times New Roman など、なるべく一般的に使用されているフォントを使用する。図表は約 300 字程度に換算する。

(2) 要旨(和文概ね 300 字以内)を本文最初のページの所定の箇所に記載し、見出し語(日本語のキーワード 3 語~5 語)は、要旨の末尾より 1 行空けて記載する。Abstract(概ね 200 words 以内)は本文最後のページに記載する。Key Words (3 to 5 words in English) は、Abstract の末尾より 1 行空けて記載する。

1) ○○病院リハビリテーション部

E-mail: yyz@or.jp

2) △△大学工学部

*メールアドレス等の連絡先記載は任意とします

(3) 論文本旨は見出し語(日本語キーワード)末尾より 2 行空けた左側上端より記載する。本文の「章」に相当する大きい見出しは順次 1,2…のように、「節」の部分に相当する見出しはそれぞれ 1.1,1.2…のように、「項」の部分に相当する見出しは 1.1.1,1.1.2…のようにする。なお、見出しは行の端から書き出し、本文は行を変え、一マス空けて書き出すようにする。さらに小さい見出しが必要な場合は順に (1),1) のようにする。文章はできるだけ常用漢字、新仮名づかいを用い、慣用の学術用語を用いる。学術的成果・技術・開発を多様な読者に理解し、活用してもらえよう、表現に配慮する。研究倫理・利益相反の記載について投稿規定を確認する。本文から投稿者・投稿者の所属先等を推察されないよう配慮する。

2.4 原稿枚数

原稿は次の刷り上がり枚数を超えないこと。(1) 研究論文 8 頁、(2) 研究報告 6 頁、(3) 技術・開発・活用報告 4 頁

3 図表

画像データは、できるかぎり JPEG 形式とする。冊子版ではグレースケール掲載となる。電子公開版でのカラー掲載を希望される場合はカラーで提出の上、「電子公開版カラー掲載希望」と明記する。

4 動画

投稿論文の説明表現として動画を使用することができる(電子公開版のみ)。動画は Web での閲覧に耐えるものとする。1 論文の動画ファイルサイズは 1 ファイル 50MB 以下、動画の長さは 1 論文につき合計 3 分以内とし、ファイル数の上限は定めない。ファイル形式は、Windows Media Player または Quick Time Player で再生可能な形式(動画は mp4、mpeg、mpg、mov、avi、音声は mp2、mp3、wav)で作成する。J-STAGE の画面上で動画再生ができるのは、mp4 形式のみ(他形式の場合はダウンロードして閲覧)となるので、mp4 形式を推奨する。

図表、動画とも、タイトル・ナンバー・説明文を必ず記載し、タイトルフォントは BIZ UDP ゴシック 10 ポイントとする。挿入箇所は本文中に図表番号を記し

て明記する。

図表・動画添付は、著作権および肖像権等の権利侵害に留意し、必要に応じ個人情報に配慮した画像処理をする。

5 参考文献

参考文献は、本文中の該当場所の右肩に下記の形で文献番号を記入し、本文の後に文献リストをつける。(例:..鈴木ら 1)によると、..)

文献の書き方は、次のようにする。

(1) 雑誌の場合【以下、例 1), 2)】

著者名:表題名, 雑誌名, 巻(号), 最初一最後の頁, 発行年

(2) 単行本で単独(共同)執筆の場合【3), 4)】著者名書名, 版数最初一最後の頁, 出版社, 発行年

(3) 単行本で分担執筆の場合【5)】

著者名:章名, 編集者名(編), 書名, 版数, 最初一最後の頁, 出版社, 発行年

(4) Web ページの場合【6)】 URL(年/月/日確認)

なお、DOI が付与された文献の場合は文献記載の後に DOI を記載することが望ましい。

1) 利葉工人:障害者の移動機器・システム, リハビリテーション・エンジニアリング, 8(10), 71-75, 1990, DOI:10.24691/resja.10.2_71

2) Rehatech A. B.: Human Knee Prosthetics, Bio-Prosth., 1(1), 100-110, 1989

3) X. リハコウスキ(工学太郎訳):福祉ロボットと人工知能, 1 版, 123-125, 福祉工業新聞社, 1999

4) Icart H. B.: The Super Wheelchair, 1st, 77-88, RESNA, 1992

5) 自立志郎, 自立花子, 他:ヒューマン・コミュニケーション, 愛賀大一, 他(編), 日常生活活動—評価と訓練の実際—, 5 版, 104-123, QOL 出版, 1985

6) リハビリテーション・エンジニアリング誌投稿規定 <https://www.resja.or.jp/journal/kitei.htm> 1 (2024 年 6 月 13 日改定)

他者の著作権に帰属する資料および図表・動画を引用するときは著者が複製権および公衆送信権の利用許可申請手続きを行う。

文献のうち、投稿時に審査中のもの、掲載が決定していないものは参考文献に挙げない。

Paper Submission Format for Rehabilitation Engineering Journal

Shigekichi DENKI¹⁾, Yoshiko KURUMAISSU²⁾

1) Department of Rehabilitation, ○○○ Hospital

2) Faculty of Engineering, △△ University

Abstract Thank you for posting in Rehabilitation Engineering Journal. Please read the following rules carefully before writing. The types and contents of manuscripts covered by this form are research papers, research reports, and technical/development/Utilization Reports. Enter the abstract (generally within 200 words) here, and the entry key words (3 to 5 words in English). Rehabilitation Engineering is an interdisciplinary field, so please consider expressions so that various readers can understand and utilize academic achievements, technologies, and developments.

Key Words: Introduction, Text, Figure, Video, References